

地域を守る！	▶普及啓発・人材育成	レジリエンスに取り組むコミュニティを形成する
--------	------------	------------------------

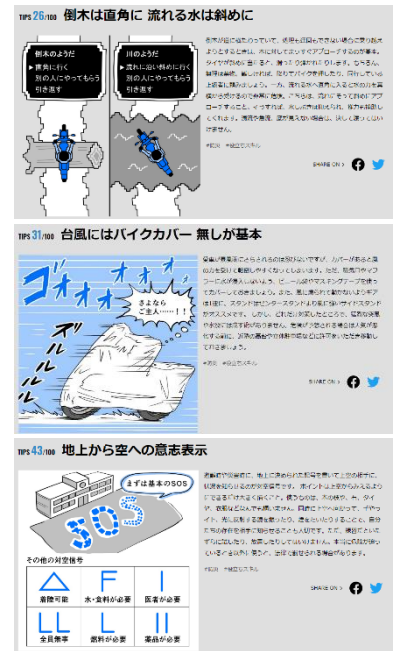
050	二輪ライダーが災害に関する経験やノウハウを共有する「防災ライダープロジェクト」	取組主体		
		ヤマハ発動機株式会社		
		従業員数	想定災害	実施地域
		10,567人	全般	全国

- クラウドファンディングを通じて、全国の二輪ライダーとともに防災について考えるプロジェクトを実施。プロジェクトの賛同者とともに、相次ぐ自然災害に対して、ライダーとして自らの身を守りながら地域のためにできることは何かを模索している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

災害時に二輪ライダーが安心して活躍できる文化を賛同者とともにつくる

- バイク・電動自転車等の二輪車やマリン製品、発電機などレジャー製品の製造を手掛けるヤマハ発動機株式会社は、「防災ライダープロジェクト FIST-AID」を立ち上げた。
- オフロードバイク等の二輪車は、倒木等で道が狭くなって車が入れない道にもアプローチできる機動力や走破性、道路が寸断された地域等に物資を届けることができる輸送機能等が重宝され、阪神・淡路大震災や東日本大震災をはじめ、台風被害等の際にも活躍してきた。
- 同社は、災害時における二輪車の有用性について一般の二輪ライダーにも改めて知ってもらうとともに、二輪ライダーの災害現場での経験やノウハウを共有する場を作り、二輪車の可能性について一緒に考えていきたいという想いから、クラウドファンディングで同プロジェクトを立ち上げた。
- プロジェクトでは、賛同者からの支援金とノウハウをもとに「防災ライダーブックレット」を作成し、教習所を通じて未来の二輪ライダーに寄贈する。賛同者へのリターンには、同ブックレットと予期せぬトラブルに対応するための車載ツールセット、賛同者の「同志の証」としてのロゴ入りステッカー等が用意されている。
- ブックレットには、ライダーだからこそできる防災の取組や平時から備えておくべきこと等をコミカルなイラストとともに掲載し、用紙には東日本大震災で大きな被害を受けた日本製紙石巻工場で開発された紙（モンテシオン）を使用している。ステッカーのロゴには、プロジェクトの賛同者数である「727」が記されており、同社は、ロゴをバイクに貼った賛同者同士が出会ったときに、想いを分かち合うきっかけになることを期待している。また、取組を継続することで賛同者の数を増やし、FIST-AIDの精神を広めていきたいと考えている。



防災ライダーブックレットに掲載される「Tips」の抜粋

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 本取組がプロジェクト賛同者をはじめ、多くの反響を呼んでいることから、社会全体から二輪車を頼もしい存在として認識してもらうことで、同社のブランド価値が向上し、ひいては二輪ライダーのプライドを高めることにもつながるようにしている。

3 現状の課題・今後の展開等

- 今後も、二輪ライダーに共感してもらえる企画を練り、賛同者とともに取組を進めていく。

担当者の声

- 活動テーマ名でもある「FIST（＝拳）」は、一人ひとりの小さな勇気とニューノーマルにあっても共感者がお互いを称え合う様子を表しています。ぜひ一度立ち止まって防災・減災に向けて何ができるか、楽しく備えることを考えていただけると嬉しいです。

問合せ先

ヤマハ発動機株式会社 クリエイティブ本部 法人番号：2080401016040
TEL：0538-32-1323 E-Mail：fistaid@yamaha-motor.co.jp

サイト URL

